考城隍

蒲松齢

田中貢太郎訳

青空文庫

予（聊斎志異の著者、蒲松齢）の姉の夫の祖父に宋公、諱を※といった者があった。それは村の給費生であったが、ある日病気で寝ていると、役人が牒を持ち、額に白毛のある馬を牽いて来て、

「どうか試験にいってくださるように。」

といった。宋公は、

「まだ試験の時期じゃない。何の試験をするのだ。」

といって承知しなかった。役人はそれには返事をせずに、ただどうかいってくれというので、しかたなしに病をおして馬に乗ってついていった。

その路はまだ一度も通ったことのない路であった。そして、ある城郭へいったが、そこは帝王のいる都のようであった。

しばらくして宋公は、唯ある役所へいった。そこは壮麗な宮殿で、上に十人あまりの役人がいたが、何人ということは解らなかった。ただその中の関帝の関羽だけは知ることができた。簷の下に二組の几と腰掛を設けて、その一方の几には一人の秀才が腰をかけていた。そこで宋公もその一方の几にいって秀才と肩を並べて腰をかけた。几の上にはそれぞれ筆と紙とが置いてあった。

と、俄に試験の題を書いた紙がひらひらと飛んで来た。見ると「一人二人、有心無心」とい

う八字が書いてあった。そこで二人はそれぞれ、その題によって文章を作って殿上へさしだした。宋公の書いた文章の中には「心有りて善を為す、善と雖も賞せず。心無くして悪を為す、悪と雖も罰せず」という句があった。殿上にいた諸神はそれを見て褒めあった。

そこで宋公は殿上に呼ばれて、

「河南の方に城の隍の神が欠けている。その方がこの職に適任であるから、赴任するがいい。」

という上諭があった。宋公はそこで自分は冥官に呼ばれているということを悟った。で、頭を地にすりつけて泣きながらいった。

「寵命を辱うしたからには、どうして辞退いたしましょう。ただ私には七十になる老母があって、他に養う人がありません。どうか老母が天年を終るまで、お許しを願います。」

上の方にいた帝王の像をした者がいった。

「それでは、老母の寿籍を調べてみよ。」

そこで鬚の長い役人が帳簿を持って来て紙をめくって、

「人間世界の寿命がまだ九年あります。」

といった。そして、ちょっと言葉のきれた時、関帝がいった。

「それでは張生を代理にしておいて、九年の後に更代さすがよかろう。」

そこで宋公にいった。

「すぐ赴任さすことになっておるが、仁孝の心にめんじて、九年の時間をかそう。そのかわり、

時間が来たならまた召すから、そう心得よ。」

関帝は秀才を召して二、三勉励の言葉を用いた。終って宋公と秀才は下におりたが、秀才は宋公の手を握りながら、郊外まで送って来た。秀才は自分で長山の張という者であるといった。秀才はその時詩を作って贈別してくれた。その詩の中に、「花有り酒有り春常に在り。月無し燈無し夜自ら明らか」の句があった。

宋公はすぐ馬に乗って、秀才と別れて帰って来た。そして自分の村に帰ったかと思うと、豁然として夢が寤めたようになった。その時宋公は死んでから三日になっていた。母は棺の中の宋公の呻き声を聞いて扶け出したが、半日してからやっと口が利けるようになった。長山で聞いてみると張生という者があって彼の日に死んでいた。

後九年して母が果して没くなった。宋公は母の葬式をすまして体を洗って室へ入ったが、そのまま死んでしまった。宋公の妻の父の家が城内の西門の内にあったが、ある日宋公が国王の乗るような輿に乗り、たくさんの供を伴れて入って来て拝をしていってしまった。家の者は驚き疑って、もう宋公が神になっているのを知らないから、走っていって郷の者に訊いて呼びもどそうとしたが、もう影も形もなかった。宋公には自分で書いた小伝があったが、惜しいことには騒乱のためになくなった。この話はその大すじである。

青空文庫情報

底本：「聊斎志異」明徳出版社
　1997（平成9）年4月30日初版発行
底本の親本：「支那文学大観　第十二巻（聊斎志異）」支那文学大観刊行会
　1926（大正15）年3月発行
入力：門田裕志
校正：松永正敏
2007年8月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

考城隍

蒲松齢

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　田中貢太郎訳
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/